

豊かな自然 心ふれあうまち

2011・10・25

地区自治会だより

石神安全まつり

グリーンカーテン／蒟蒻栽培

連帯感・絆を育む地区事業

青少年村民会議

ふれあい敬老会

いにしへの城跡は今！

インフォメーション

Vol. 19

ふれあいま



美りの秋 香取神社の杜

石神安全まつり

安全・安心部会

9月18日(日)第2回石神安全まつりが、約100名の参加のもと盛大に開催されました。135点の応募があった安全標語の中から、優秀な作品の発表と表彰が行われました。次に村の原子力対策課による原子力防災講座を聞きました。その後県内に1台しかない起震車による、震度7までの揺れを体験しました。



安全標語優秀作品

石神小学校の部 優秀作品

あぶないよ ちゃんとけしてね たばこのひ	1年2組	吉川 七海
かえりみち 一人にならない 友だちと	2年1組	大津 光司
大きな声でこんにちは ぼくのあいさつに エコはない	3年1組	秋山 拓也
なれた道 安心感が きけんよぶ	4年2組	平沼 紫苑
大丈夫 そういう気持ちで 事故のもと	5年1組	佐甲 魁世
行く前に 時間と場所を 言ってから	6年2組	根本 香郁

大人の部 優秀作品

安全は あなたとわたしの 合言葉	内宿一区	飛田 静子
------------------	------	-------

グリーンカーテン／立て看板

建設・環境部会

建設・環境部会では、6月1日（水）玄関前と中庭の花壇整備と地球温暖化防止に向けた、ゴーヤのグリーンカーテンを作りました。見事に育ち、節電に役立ちました。

6月25日（土）に外宿一区の不法投棄巡視活動を行い、桝橋の下に不法投棄が多くあったので、新たに看板を設置しました。



そば打ち講習会・こんにゃく栽培

農・工・商業部会

6月11日（土）そば打ち講習会を行いました。



本年度、当部会ではこんにゃく栽培の研修を行っております。6月24日（金）大子町のこんにゃく栽培農家へ視察研修に行ってきました。12月には、こんにゃく作りの料理教室を予定しています。



連帯感・絆をはぐくむ地区事業

— 司令塔を担う役員の仕事からと研修会を実施 —

石神地区自治会 会長 廣原 通治

地区自治会 6 部専門部会が試行期間を含め発足して 4 年になりますが、専門部会役員も 2 年の任期で入れ替えが早く、役員同士の十分な連携が取れないまま地区事業を取組んできました。

その反省もあって、事業を通じて地区民の連帯感・絆を醸成するには、役員連帯感・絆あってこそ、円滑な地区事業が展開できるものと、初めて専門部会役員の研修会を実施いたしました。

7月22日蒸し暑い日 32名の参加で、土浦市にある茨城県霞ヶ浦環境科学センターを見学し、午後は下妻市にある組合員40名で構成する農事組合法人「百姓倶楽部」の高品質堆肥製造施設を見学しました。量販店から出る野菜屑や賞味期限の過ぎた食品などを、乳酸菌を利用して堆肥化し組合農家に配布しているそうです。

帰りの車中は、共通話題も出来たためか、和やかに会話が弾み研修会の目的は十分果たせたように思います。



節電をして楽しく踊る！

内宿一区

今年は大震災があり開催が危ぶまれました。「予算を削減して楽しく盛大に踊ろう」のキャッチフレーズのもと手作り竹灯籠で節電。櫓をステージ型にして費用を削減。お楽しみ抽選会で盛りあがりました。「がんばっぺ茨城」のうちわと竹灯籠が震災を乗り越えようという雰囲気をもっと強くしたようです。



区民交流の集い！

外宿二区

10月2日(土)石神小学校において区民の交流の集いを行いました。今年はスポーツ大会の後の、バーベキュー大会を取りやめて、業者の弁当にしました。楽しみの抽選会は、震災の経験をふまえ、全て防災グッズの景品でした。ランタン、ティキャンドル、折りたたみバケツ、ポリタンク等々……。

使わないですむ日が続きますよう！！



青少年育成東海村民会議石神支部

ふれあい花壇整備

6月18日(土) 高齢者クラブのご指導のもと、石神小学校校外ふれあい花壇に、マリーゴールド・金魚草・なでしこ 1000本を校長先生、教頭先生、子どもたちとワイワイと植付けを行いました。

9月3日(土)には除草を行い、只今大変きれいに咲いておりますので、お通りの折にはご鑑賞下さい。



地域と小学校の連絡会開催

6月16日(木) 村民会議石神支部長、民生委員、高齢者の方々10名で石神小学校を訪問し、地域と小学校の連絡会を開催しました。そのなかで、小貫校長先生より石神の子どもたちは、地域の人に見守られ良い環境のなかで、人とのコミュニケーションも良好に成長していますとのお話を頂きました。村民会議石神支部 30年の継続活動は、地域の子どもたちの心に根づいていることを感じました。

子どもたちは、日本の希望です。地域の子もたちや大人が、ワクワクし元気に成るような事業を行って参りますので、今後とも青少年育成村民会議(教育部会)活動にご支援ご協力お願い申し上げます。

今後の行事予定



11月27日(日)
三世代交流会

2月4日(土)
JAXA 見学会



石神地区社会福祉協議会

ふれあい敬老会開催

— 七夕祭り —

7月10日(日)石神コミセンにて、猛暑の中ふれあい敬老会が開催されました。石神地区にお住まいの80歳以上の方(90名参加)をお招きし、七夕を楽しみました。「もう少し若返り人生を楽しみたい」とか「お金持ちになりたい」等ユニークな願い事がありました。調理ボランティアの手作りお弁当による会食後、抽選会をし、全員景品を手笑顔の中無事終了しました。



ふれあい部会

東日本大震災を受けて「災害時にも役に立つ昔ながらのご飯炊き」と題し、電気を使わない料理教室を10月8日(土)実施しました。

12月3日(土)には、一般公募(班回覧)により同様の料理教室を行います。

支え合い部会

— 見守り活動スタート —

石神地区社協では、直接訪問による統一した見守り活動を開始しました。安否確認とニーズの把握を行います。

ふれあい協力員研修会

9月29日（木）ふれあい協力員研修会（90名参加）は、村の社会福祉課による第2次東海村地域福祉計画についての講座を行いました。

「地域福祉とは・地域福祉の必要性・新たな担い手の育成」などの話を聞き、地区社協の必要性を実感しました。会食後、自治会ごとに分かれ、これからの活動についての計画や問題点について活発な意見交換がおこなわれました。



いきいきサロン 紹介

サロン「虹」代表 宮島 栄子

平成22年12月より、内宿二区の集会所において、コーヒーの香りに包まれながら、おしゃべりを楽しんでいます。当初の会員は10名ほどでしたが、回を重ねるごとに会員も増え、現在は16名で活動をしております。活動日は、毎月第四水曜日の午後1時30分から2～3時間で、会費は参加時に100円としています。内容は特に定めず、その時々のお話を話題にしております。3月11日の東日本大震災、そして原発事故と大きな出来事がありましたので、9月にハイキングを計画しておりましたが中止し、10月に被災地（北茨城方面）の視察を計画しております。

今後も話し合いの場として、地域の親睦の場として、一步一步活動をしていきたいと思っております。



※いきいきサロンとは、社協の推進事業です。

4～5人からでもOK！みなさんもサロンを作りませんか？

いにしえの城跡は今！

石神城址公園をまもる会 会長 飛田 勲

中世時代の城跡を、今でも鮮明に残す石神城は、先人が弥生時代の頃から生活していたようです。この史跡を守ろうと、私たちボランティア数十名が活動しています。作業内容は植物の手入れや管理の手伝いなどです。今までに手掛けた植栽は、山あじさい・やまぶき・彼岸花・紫式部。その他に自生の山百合・浦島草・スミレ等たくさんあります。四季おりおりに、訪れる人々の目を楽しませてくれます。

毎年恒例になった「たけのこ祭り」には、山桜が見ごろで、たけのこ入り豚汁を食しながら見る山桜は素晴らしいです。

この大震災により一部に損壊が生じましたが、大きく変貌したわけではありませんので、ご安心のほどを。

気の趣くままに城址公園内の遊歩道を散策してください。



四月中旬頃



四月下旬頃



六月中旬頃



六月中旬頃



九月中旬頃



一月初旬頃

◆ インフォメーション ◆

- | | | |
|--------------|------------------|-----------|
| ○第6回石神ふれあい祭り | 11月13日(日) 石神コミセン | 石神地区自治会主催 |
| ○キャンドル作り教室 | 12月4日(日) 石神コミセン | 建設・環境部会主催 |

編集後記

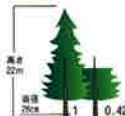
暑い、暑いしか口から出てこないような猛暑が続き、本当に秋は来るのだろうかと思っただけでしたが、自然は確実に時を進め、金色の稲を実らせてくれました。

今年は原発事故の影響で、あらゆる場所で省エネや節電が行われました。猛暑の中での節電は辛いことでもありましたが、ゴーヤや朝顔のグリーンカーテンを利用した弱冷房や明るすぎない照明など、今までの生活の反省にもなりました。これからも省エネを心掛けていきたいものです。

発行 東海村石神地区自治会
 編集 企画・総務部会
 〒319-1102
 茨城県那珂郡東海村石神内宿 1609
 石神コミュニティセンター内
 TEL 029-283-2868
 FAX 029-283-2869



この印刷物は、石神地区自治会が、印刷プロセスで使用する1.95kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、**CO2排出量19.8kg(電力量換算で30.79kWh)を削減しました。**



19.8kgのCO2削減量とは樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の杉の木約1.42本分が1年間に吸収するCO2量に匹敵します。
 (出典:林業白書)

石神地区自治会は、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国定公園内の植樹3,000本)に参加しています。